

同種施設比較分析表(コミュニティセンター)

1 各施設の情報

	成瀬	木曾森野※1	三輪※2	つくし野	
基本情報	該当ページ	328	330	332	334
	建設年月日	1987年12月16日 2016年5月20日	-	2002年3月28日	1982年8月1日
	有形固定資産減価償却率	46.4%	-	45.1%	63.9%
行政費用(千円)	人件費	5,105	5,269	6,776	5,197
	物件費	26,459	14,632	19,568	14,124
	うち委託料	19,175	10,121	11,799	10,570
	うち光熱水費	6,511	3,952	7,113	3,011
	維持補修費	419	1,392	570	1,255
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	62,302	-	4,948	11,545
	賞与・退職手当引当金繰入額	417	483	115	472
	行政費用合計	94,702	21,776	31,977	32,593

単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	1,850	1,000	1,190	1,003
	1m ² あたりコスト(円)	51,190	21,776	26,871	32,496
	利用総人数(人)	51,547	27,755	24,701	43,689
	利用者1人あたりコスト(円)	1,837	785	1,295	746
	開館日数(日)	348	348	348	348
	開館1日あたりコスト(円)	272,132	62,575	91,888	93,658

※1 東京都から無償で借りて運営している木曾森野については、減価償却費を計上していません。

※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	三輪
建物・工作物減価償却費(千円)	6,191
複合施設全体面積(m ²)	1,488
コミュニティセンター面積(m ²)	1,190
按分減価償却費(千円)	4,948

2 施設配置図



3 事業の成果の年次推移

各施設利用人数

(単位:人)

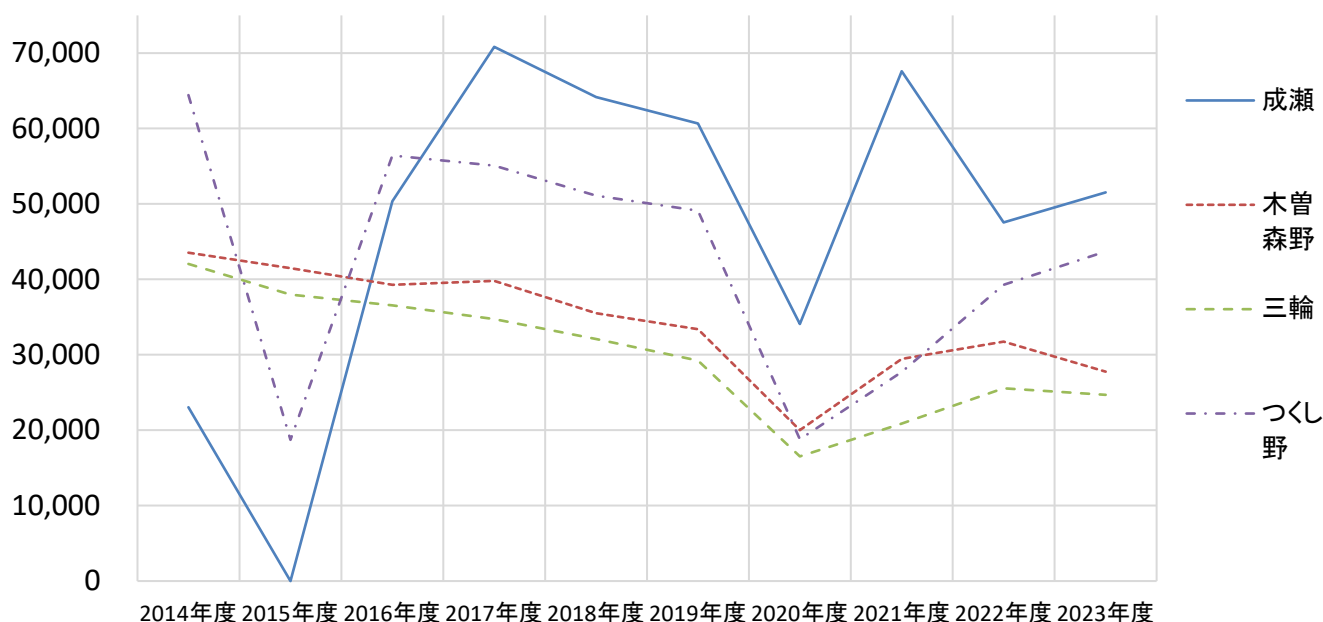
施設名称	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計
成瀬	23,065	0	50,364	70,834	64,195	60,675	34,100	67,595	47,540	51,547	469,915
木曾森野	43,539	41,485	39,300	39,800	35,493	33,392	20,010	29,440	31,750	27,755	341,964
三輪	42,049	37,976	36,557	34,718	32,079	29,227	16,530	20,876	25,557	24,701	300,270
つくし野	64,431	18,727	56,418	55,091	51,122	49,106	18,812	27,709	39,262	43,689	424,367
計	173,084	98,188	182,639	200,443	182,889	172,400	89,452	145,620	144,109	147,692	1,536,516

対前年度比率

(単位:%)

施設名称	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
成瀬	-	-	-	140.6%	90.6%	94.5%	56.2%	198.2%	70.3%	108.4%
木曾森野	-	95.3%	94.7%	101.3%	89.2%	94.1%	59.9%	147.1%	107.8%	87.4%
三輪	-	90.3%	96.3%	95.0%	92.4%	91.1%	56.6%	126.3%	122.4%	96.7%
つくし野	-	29.1%	301.3%	97.6%	92.8%	96.1%	38.3%	147.3%	141.7%	111.3%

(人)



4 事業の成果の年次推移の分析

・成瀬コミュニティセンターとつくし野コミュニティセンターの利用者数は、施設の老朽化に伴う建替工事や改修工事により、貸出を休止していたため、2015年度に大きく減少しています。

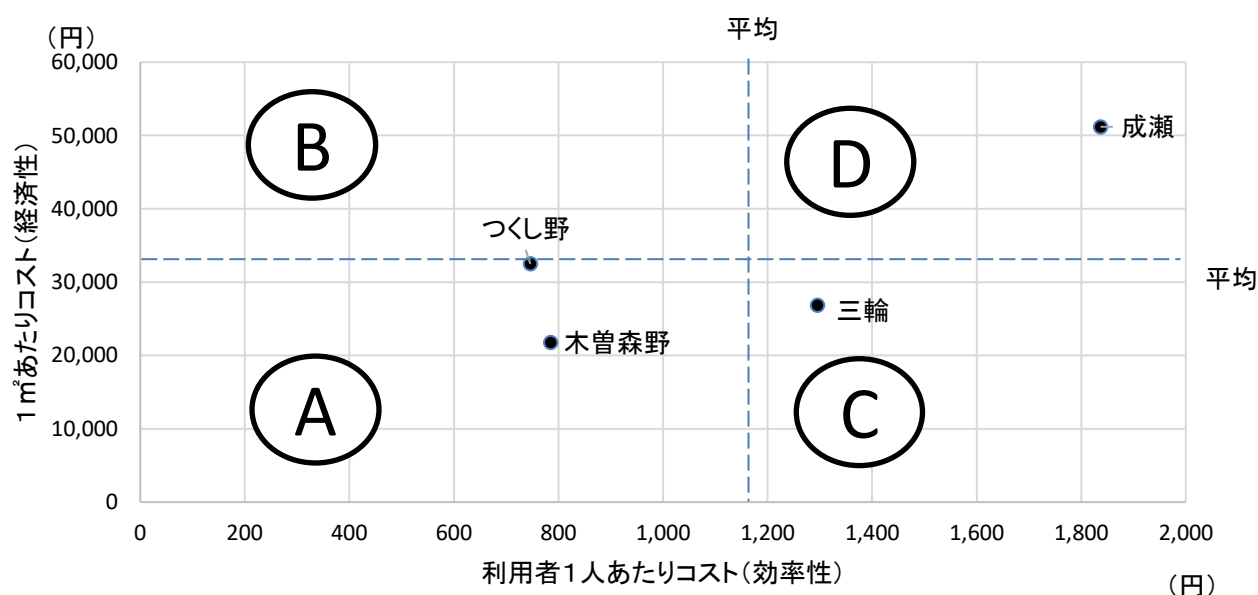
・新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての施設で2020年度の利用人数が大きく減少しています。成瀬コミュニティセンターは、新型コロナウイルスワクチン接種会場であったことから、2021年度の利用人数が特に増加しています。

・過去10カ年の施設利用人数の推移をみると、2017年度をピークとし、以降は減少傾向となっています。直近3カ年の4つの施設合計の施設利用人数は、ほぼ横ばいで推移しています。

5 2022年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

- ・利用の少ない若年層への利用促進など、施設利用率を向上させていく必要があります。
- ・便利で楽しい地域の拠点として機能していくよう、効率的・効果的な管理運営手法の導入などに取り組みます。
- ・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①物件費の特徴について

Dの特徴: 成瀬コミュニティセンターは、施設規模が大きく、部屋数も多いため、施設を維持管理するために必要となる委託料等が他施設と比べて高くなっています。

②施設規模の特徴について

Aの特徴: 木曾森野コミュニティセンターは、東京都が建物を所有しているため減価償却費はありません。そのため、開館1日あたりコストが最も低くなっています。

Dの特徴: 成瀬コミュニティセンターは、施設規模が大きく、物件費及び減価償却費が高いため、開館1日あたりコストが最も高くなっています。

③利用総人数の特徴

A・Dの特徴: 成瀬コミュニティセンターは施設規模が大きいことや図書の貸し出しなどの事業が充実していること、つくし野コミュニティセンターは駅前に立地していることから利用総人数が多くなっています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

- ・利用の少ない若年層への利用促進、Wi-Fi環境の整備など、施設利用率を向上させていく必要があります。
- ・施設の維持管理業務を一元化することで、スケールメリットによる委託費の削減と、同一業務の契約統合による効率化を図ります。
- ・建物をより長く安全に利用できるよう、計画的な維持・補修に努めます。

同種施設比較分析表(連絡所)

1 各施設の情報

		町田駅前※1	木曽山崎※2	玉川学園駅前	鶴川駅前※2
基本情報	該当ページ	348	350	352	358
	建設年月日	1998年4月7日	1982年8月17日	2021年4月9日	2012年9月29日
	有形固定資産減価償却率	-	71.7%	5.9%	-

行政費用(千円)	人件費	52,081	31,631	28,005	36,950
	物件費	18,166	20,199	20,464	1,770
	うち委託料	95	14,204	15,051	1,020
	うち光熱水費	606	4,426	4,094	198
	維持補修費	0	1,526	554	0
	補助費等	0	0	0	0
	減価償却費	-	11,944	31,932	973
	賞与・退職手当引当金繰入額	10,830	5,191	4,726	6,043
	行政費用合計	81,077	70,491	85,681	45,736

単位あたりコスト分析	延床面積(m ²)	109	1,611	1,715	67
	1m ² あたりコスト(円)	743,826	43,756	49,960	682,627
	取扱総件数(件)※3	47,288	13,942	14,727	21,428
	取扱件数1件あたりコスト(円)	1,715	2,316	1,819	2,134
	利用総人数(人)※4	-	44,803	49,891	-
	利用者1人あたりコスト(円)	-	853	1,180	-
	開館日数(日)	344	357	358	324
	開館1日あたりコスト(円)	235,689	197,454	239,332	141,160

※1 町田駅前連絡所は賃貸建物のため減価償却費を計上していません。

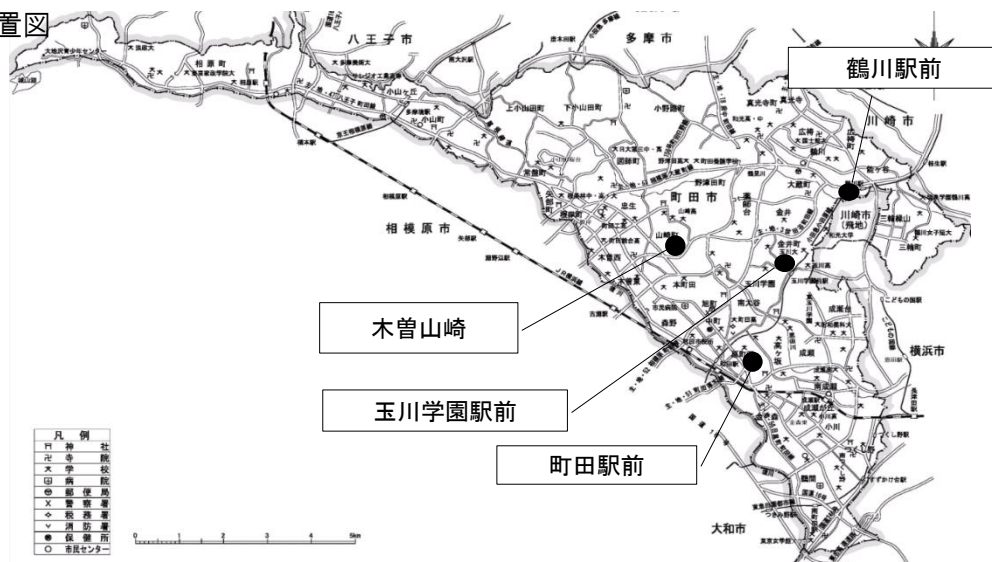
※2 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	木曽山崎	鶴川駅前
建物減価償却費(千円)	15,607	86,820
複合施設全体面積(m ²)	2,105	5,979
連絡所面積(m ²)	1,611	67
按分減価償却費(千円)	11,944	973

※3 証明書交付、各種申請受付等の行政窓口取扱件数

※4 ホール・会議室等の施設利用人数

2 施設配置図



3 事業の成果の年次推移

行政窓口取扱件数

(単位:件)

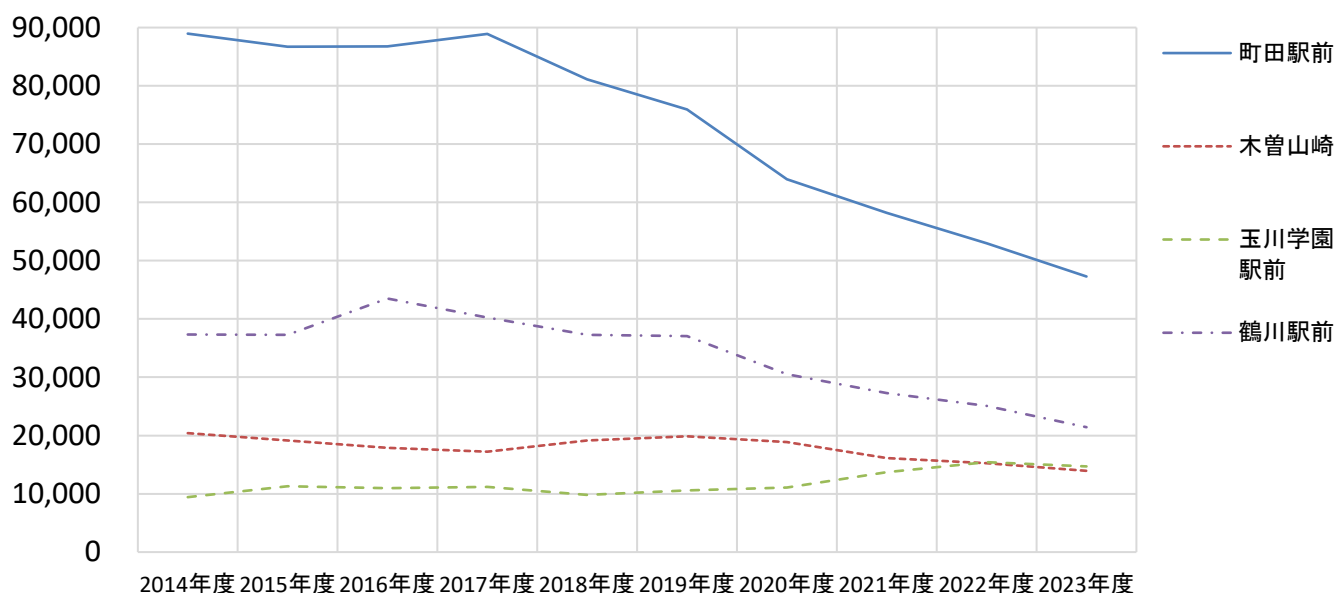
施設名称	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	計
町田駅前	88,958	86,724	86,743	88,905	81,082	75,968	63,973	58,210	52,982	47,288	730,833
木曽山崎	20,409	19,134	17,863	17,218	19,155	19,878	18,851	16,117	15,241	13,942	177,808
玉川学園駅前	9,428	11,297	10,940	11,179	9,829	10,586	11,069	13,725	15,427	14,727	118,207
鶴川駅前	37,325	37,272	43,506	40,237	37,282	37,036	30,521	27,259	25,069	21,428	336,935
計	156,120	154,427	159,052	157,539	147,348	143,468	124,414	115,311	108,719	97,385	1,363,783

対前年度比率

(単位:%)

施設名称	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
町田駅前	-	97.5%	100.0%	102.5%	91.2%	93.7%	84.2%	91.0%	91.0%	89.3%
木曽山崎	-	93.8%	93.4%	96.4%	111.2%	103.8%	94.8%	85.5%	94.6%	91.5%
玉川学園駅前	-	119.8%	96.8%	102.2%	87.9%	107.7%	104.6%	124.0%	112.4%	95.5%
鶴川駅前	-	99.9%	116.7%	92.5%	92.7%	99.3%	82.4%	89.3%	92.0%	85.5%

(件)



4 事業の成果の年次推移の分析

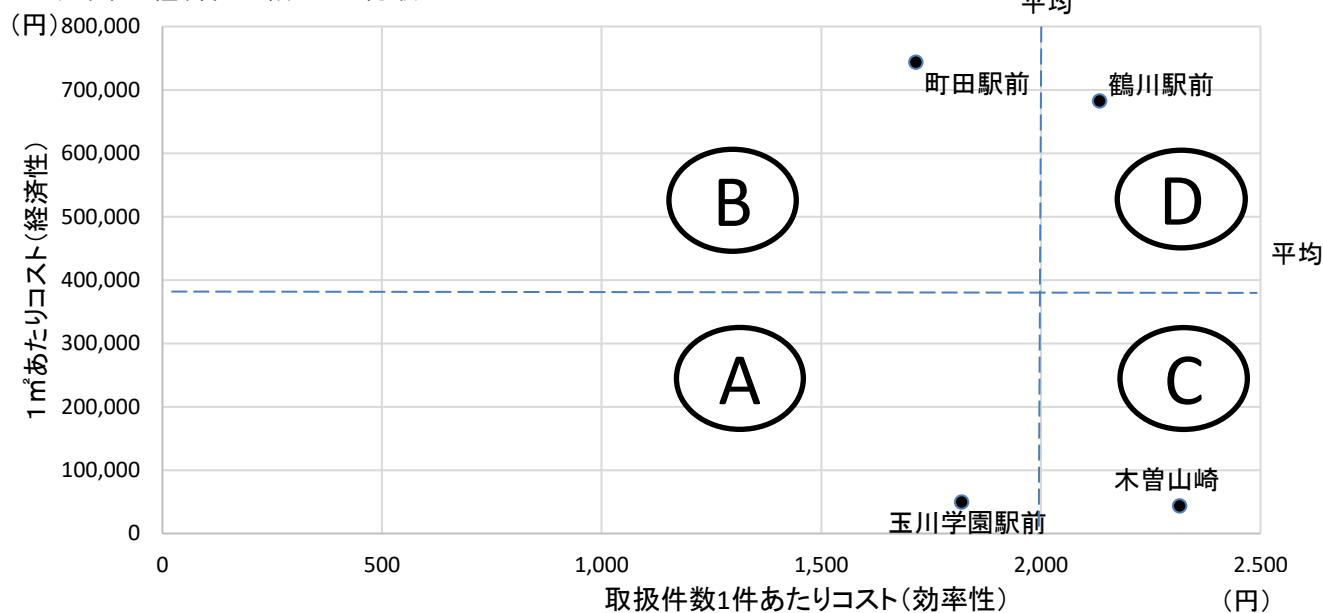
・マイナンバー制度による情報連携により証明書が不要になった手続きが増えたことや、コンビニ交付の増加など、デジタル化の推進により証明書交付件数が減少しています。
 ・玉川学園駅前連絡所は、2021年の建替後、市立図書館の資料の受け取り・返却サービス等の件数が増加しています。

5 2022年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加により、今後は更に証明書の交付件数が減少すると考えられるため、証明書交付に特化した窓口機能の見直しを検討する必要があります。

・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は、安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①人件費の特徴について

全体の特徵: 平日の夜間や土日でも開所している町田駅前連絡所、鶴川駅前連絡所と比べると、玉川学園駅前連絡所及び木曾山崎連絡所は、職員の配置人員が少なくなっています。

Bの特徵: 町田駅前連絡所は、市内で最も乗降者が多い町田駅前という利便性の高い立地であること、平日の夜間や土日でも開所していることから、配置されている人員が他の連絡所に比べて多いため、人件費が高くなっています。

②施設規模の特徴について

A・Cの特徵: 玉川学園駅前連絡所、木曾山崎連絡所は、行政窓口業務のほかに施設貸出業務を行っているため、施設規模が大きく1㎡あたりコストは低くなっています。

B・Dの特徵: 町田駅前連絡所と鶴川駅前連絡所は、延床面積が他の施設に比べて狭く、1㎡あたりコストが高くなっています。

③行政窓口取扱総件数、施設利用総人数の特徴について

全体の特徵: マイナンバー制度による情報連携により証明書が不要になった手続きが増えたことや、コンビニ交付の増加などデジタル化の推進により、証明書交付件数が減少しています。

Cの特徵: 木曾山崎連絡所は駅から遠方のため他の連絡所と比べて証明書交付件数が少なくなっています。一方、施設の老朽化による維持補修費や減価償却費が単位あたりコストに大きく影響しています。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・マイナンバー制度による情報連携やコンビニ交付の増加により、連絡所の役割や効率的な運営方法について検討する必要があります。

・老朽化が進んでいる木曾山崎連絡所は、安全・安心な施設を維持するために、引き続き計画的な維持補修及び改修を行います。

同種施設比較分析表(ふれあい館)

1 各施設の情報

		もみじ館 (金森)	いちよう館 (鶴川)	もっこく館※1 (町田)	くぬぎ館※1 (木曽山崎)	けやき館※1 (堺)	桜館※2 (小山田)
基本情報	該当ページ	216	218	220	222	224	226
	建設年月日	1975年2月28日	1978年1月5日	1989年3月22日	1982年10月13日	1983年3月31日	1994年3月17日
	有形固定資産減価償却率	81.6%	67.0%	-	-	-	58.5%

行政費用 (千円)	人件費	18,170	15,466	15,434	15,605	16,028	920
	物件費	6,471	8,125	7,848	6,513	3,803	37,304
	うち委託料	4,534	5,631	4,934	4,418	2,498	37,172
	うち光熱水費	1,160	1,677	2,488	1,352	849	0
	指定管理委託料 うち光熱水費※3	-	-	-	-	-	8,288
	指定管理委託料 うち人件費※3	-	-	-	-	-	16,733
	維持補修費	250	242	56	466	411	1,056
	補助費等	173	166	202	86	136	0
	減価償却費	2,422	6,590	4,695	3,659	5,162	15,528
	賞与・退職手当引当金繰入額	1,909	858	787	807	432	411
行政費用合計	29,395	31,447	29,022	27,136	25,972	55,219	

単位あたり コスト分析	延床面積(m ²)	581	720	826	493	359	1,074
	1㎡あたりコスト(円)	50,594	43,676	35,136	55,043	72,345	51,414
	利用総人数(人)	18,175	15,420	11,318	23,722	12,792	21,797
	利用者1人あたりコスト(円)	1,617	2,039	2,564	1,144	2,030	2,533
	開館日数(日)	296	296	294	296	294	296
	開館1日あたりコスト(円)	99,307	106,240	98,714	91,676	88,340	186,551

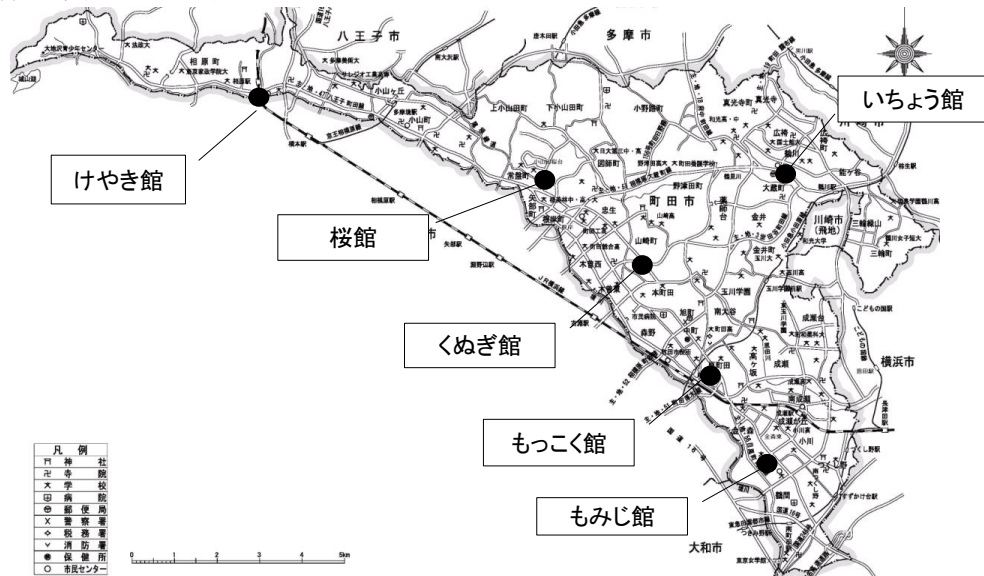
※1 複合施設については減価償却費を面積按分して算出しています。

	もっこく館	くぬぎ館	けやき館	桜館
建物減価償却費(千円)	25,183	15,607	41,125	40,830
複合施設全体面積(m ²)	4,429	2,105	2,863	2,824
ふれあい館面積(m ²)	826	493	359	1,074
按分減価償却費(千円)	4,695	3,659	5,162	15,528

※2 桜館については、デイサービス(1F)等に係る減価償却費を面積按分で控除し、老人福祉センター(2F)分のみを算出しています。

※3 受託法人の決算資料から転記しています。

2 施設配置図



3 事業の成果の年次推移

各施設利用人数

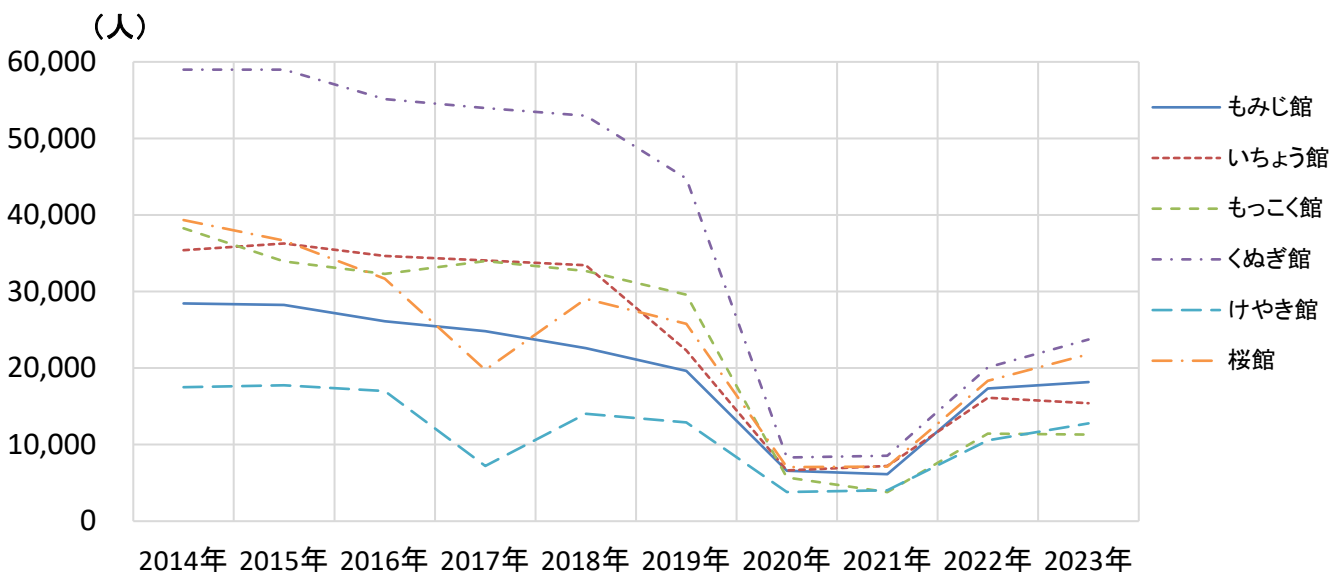
(単位:人)

施設名称	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計
もみじ館	28,445	28,255	26,102	24,832	22,582	19,615	6,599	6,137	17,342	18,175	198,084
いちよう館	35,411	36,273	34,664	34,050	33,414	22,328	6,631	7,208	16,105	15,420	241,504
もっこく館	38,259	33,918	32,314	33,968	32,670	29,578	5,727	3,797	11,422	11,318	232,971
くぬぎ館	58,985	58,975	55,124	53,981	52,967	44,761	8,319	8,570	20,092	23,722	385,496
けやき館	17,487	17,751	16,992	7,204	14,023	12,922	3,809	4,023	10,540	12,792	117,543
桜館	39,333	36,654	31,685	19,751	29,054	25,769	7,063	7,142	18,319	21,797	236,567
計	217,920	211,826	196,881	173,786	184,710	154,973	38,148	36,877	93,820	103,224	1,412,165

対前年度比率

(単位:%)

施設名称	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
もみじ館	-	99.3%	92.4%	95.1%	90.9%	86.9%	33.6%	93.0%	282.6%	104.8%
いちよう館	-	102.4%	95.6%	98.2%	98.1%	66.8%	29.7%	108.7%	223.4%	95.7%
もっこく館	-	88.7%	95.3%	105.1%	96.2%	90.5%	19.4%	66.3%	300.8%	99.1%
くぬぎ館	-	100.0%	93.5%	97.9%	98.1%	84.5%	18.6%	103.0%	234.4%	118.1%
けやき館	-	101.5%	95.7%	42.4%	194.7%	92.1%	29.5%	105.6%	262.0%	121.4%
桜館	-	93.2%	86.4%	62.3%	147.1%	88.7%	27.4%	101.1%	256.5%	119.0%



4 事業の成果の年次推移の分析

・ふれあい館の利用者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、施設の休館や利用控えなどにより大幅に減少しています。

・2022年度からは休館することなく開館しており、利用者数は増加傾向にあります。直近10ヶ年で最多である2014年度と比較すると、2023年度の利用者数は約47%となっています。

・高齢者人口の増加に伴い、高齢者向けの趣味や娯楽サービスを提供する事業者の増加や、定年延長などによる65歳以上の就業者数の増加など、高齢者のライフスタイルが多様化しています。これらの変化は、高齢者を対象としたふれあい館の利用者数減少の一因と考えられます。

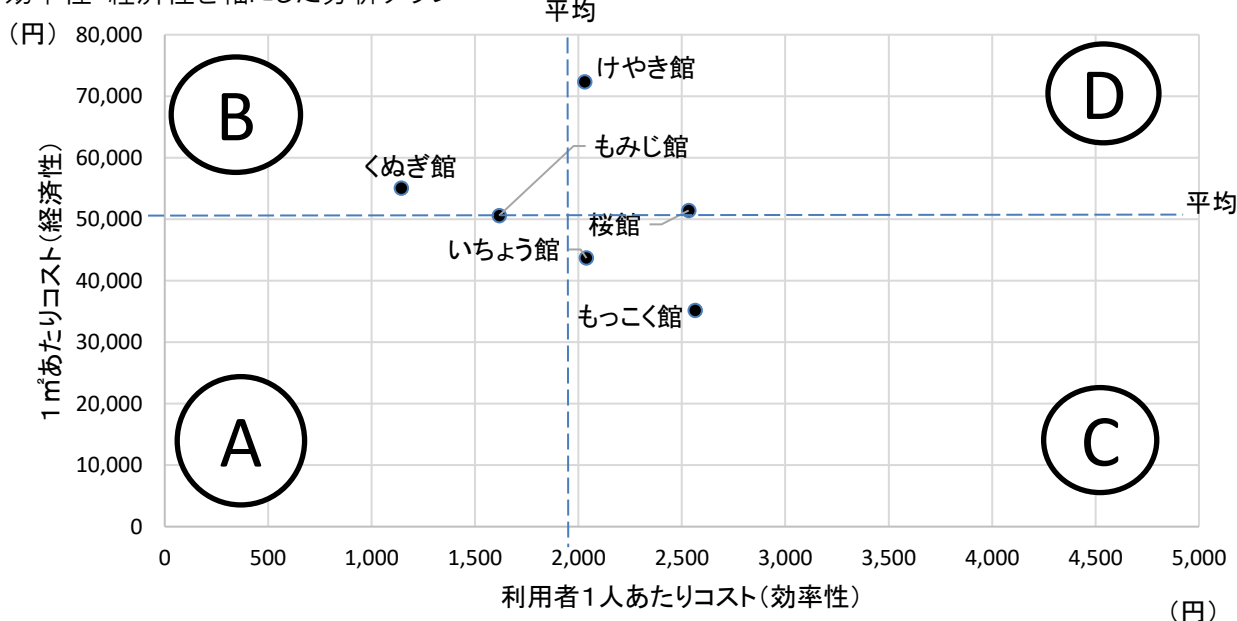
5 2022年度決算で掲げた施設マネジメント改善のための取り組み

・2022年度に実施した「ふれあい館のあり方検討会」の結果を踏まえ、「介護予防・健康づくり」をふれあい館における重点取り組み項目に位置付けました。今後は「介護予防・健康づくりに関連した取り組み」「より多くの高齢者の利用につながる取り組み」「特に単身高齢者にとっての外出の機会となる取り組み」を実施していく必要があります。このことから、2023年度は「介護予防・健康づくり」の講座・イベントを開催します。

・来館者システムを活用して、来館者の滞在時間等の情報を分析し、各ふれあい館の傾向を把握していきます。

・ふれあい館の効果的、効率的な事業運営のためには、「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、A区分にない施設をA区分に近づける必要があります。

6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ



7 分析欄

①行政費用の特徴について

・桜館を除く5館では、人件費が行政費用の多くの割合を占めています。5館の行政費用に対する人件費の割合は平均で56.7%です。

・桜館のみ指定管理者制度を導入しています。このため桜館の行政費用は物件費の割合が一番多く、67.6%を占めています。

②1㎡あたりコストの特徴について

・1㎡あたりコストの平均は51,368円です。2022年度決算時は53,550円だったため、2,182円減少しました。

・2022年度と比較して、もみじ館及びけやき館の行政費用が大きく減少したため、2館の1㎡あたりコストが10,000円以上減少しています。もみじ館及びけやき館の主な行政費用の減少要因は、賞与・退職手当引当金繰入額の減少によるものです。

③利用者1人あたりコストの特徴について

・利用者1人あたりコストの平均は1,988円です。2022年度決算時は2,223円だったため、235円減少しました。

・2022年度と比較して、ふれあい館の利用総人数の増加や行政費用の減少等により利用者1人あたりコストが減少しました。

8 施設マネジメント改善のための今後の取り組み

・ふれあい館における重点項目として「介護予防・健康づくりに関連した取り組み」「より多くの高齢者の利用につながる取り組み」「特に単身高齢者にとっての外出の機会となる取り組み」を実施していく必要があります。

・ふれあい館で実施する介護予防・健康づくりのうち、好事例について高齢者支援センターを通じて市内の各地域に展開していきます。

・ふれあい館の効果的、効率的な事業運営のためには、「6 効率性・経済性を軸にした分析グラフ」において、A区分にない施設をA区分に近づける必要があります。

